

第6回 東大教室@楡葉 古文書の教室

～猪狩家文書にみる戦国時代の楡葉～

講師：白石 愛

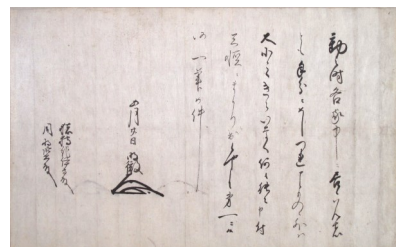
東京大学総合研究博物館 特任助教
博物資源学／日本史学



戦国時代の楡葉郡を領知していた猪狩家に伝わっ

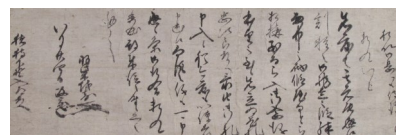
た古文書を紹介します。主家である岩城氏から発給された文書は、猪狩氏との関係性がよくわかるもので、戦国時代の在地領主のあり方を示す点で重要な史料といえます。楡葉郡内を通行した伊達政宗の礼状からは、近隣の大名同士のつながりが伺えます。

文書に書かれた内容を丁寧に読むことで、戦国時代の楡葉地域の様子がどのようなものであったかを読み解いていきます。



岩城明徹（重隆）書状

（天文17(1548)年以降）5月20日／猪狩将監・
紀伊守宛／個人蔵「猪狩家文書」
写真提供：仙台市博物館



伊達政宗書状

（慶長5(1600)年）8月24日
猪狩下野入道（守之か）宛／個人蔵「猪狩家文書」
写真提供：仙台市博物館

場所：楡葉町コミュニティセンター ホワイエ

（大会議室から変更になりました）

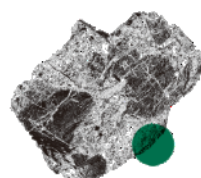
日時：令和6年10月27日（日） 13:30～15:00

※入場無料 お電話にてお申し込みください

主催：楡葉町 東京大学総合研究博物館

事業支援：公益財団法人福島イノベーションコースト構想推進機構

【大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業】



楡葉町×東京大学総合研究博物館
連携ミュージアム

大地とまちの
タイムライン

Naraha UMUT Collaborative Museum
A Timeline of the Earth and the Town